



生ごみ処理システム対応  
ディスポーザー  
YD200BWA  
自動給水シリーズ

# 施工説明書

一部の指定地域を除き、ディスポーザー単独での使用はできません。

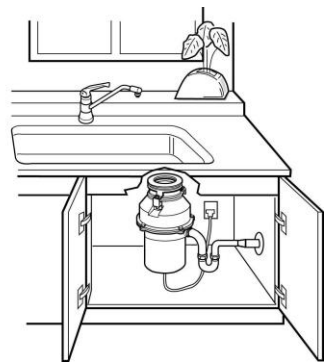
専用合併浄化槽や生ごみ排水対応下水処理槽との併用でのみ使用できます。

本書による施工方法以外の不適切な施工で事故および故障が生じた場合、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

## はじめに(施工される方へ)

施工前に配線・配管工事の内容についてお客様と必ず打合せをおこなってください。

施工完了後、必ず試運転をおこない、不具合がないことを確認してください。



手順 安全に施工いただくために


## 1 安全上のご注意


必ずお守りください

据付工事前に必ずよく読んでうえで、正しくお使いください。


ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。


誤った施工をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。


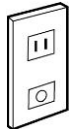




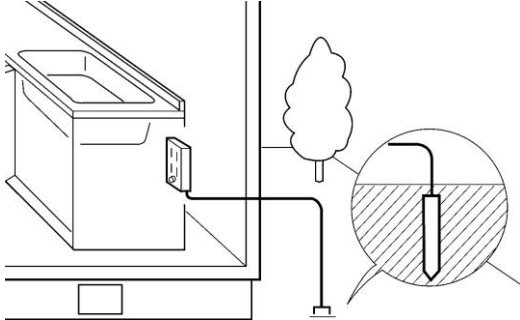

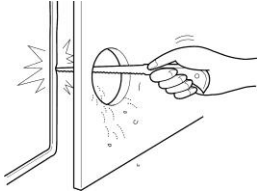

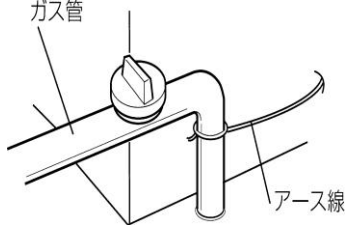



 この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

# 1 安全上のご注意

## 警告

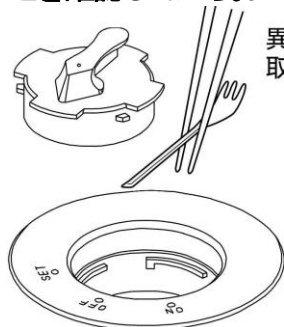
	<p>定格15A・交流100Vの専用回路を単独で使用してください。</p> <p>他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。</p>  <p>定格15A・交流100V</p>		<p>電気工事・配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従い、安全、確実におこなってください。</p> <p>誤った電気工事・配線工事は感電や火災の原因になります。</p>
	<p>設備・配管工事は、現場の設置図および施工説明書に従い、必ず付属の部品を使って確実にこなしてください。</p> <p>強度不足や取付けが不完全な場合は、本体の落下などによるケガの原因や、火災・感電・水漏れなどの原因になります。</p>		<p>設置工事は、設置専門業者または指定業者がおこなってください。</p> <p>誤った設置工事や移設工事は、火災・感電・水漏れの原因になります。</p>
	<p>アース線は必ず接地してください。</p> <p>※D種接地(対地間 100Ω以下)を行い、工事後、接地抵抗計にて確認してください。</p> <p>アース線を接続しないと、万一の故障や漏電のとき感電の原因になります。 (アース線の取付けは、法律で義務付けられています。) アース工事は、電気設備技術基準に基づいて電気工事の方がおこなってください。</p>		
	<p>設置・配線工事の際の壁への穴あけ、電源ケーブルの固定は、屋内配線・屋内配管を傷つけないようにしてください。</p>  <p>漏電・感電・火災の原因になります。</p>		<p>アース線はガス管、水道管、避雷針、電話線には絶対に接続しないでください。</p>  <p>爆発・感電の原因になります。</p>
	<p>設置終了後は、設置・配線工事が確実にできているか確認してください。</p> <p>設置が不完全な場合は、本体の落下などによるケガや、火災・感電・水漏れなどの原因になります。</p>		<p>電源ケーブル類をステーブルなどで固定しないでください。固定は市販のケーブル固定具をお使いください。</p>  <p>電源ケーブル類が破損して、ショートし感電・火災の原因になります。</p>

# ⚠ 注意

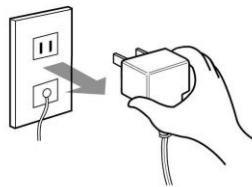
	<p>施工の際は、床に毛布などを敷いてください。</p>  <p>毛布などを敷いていないと床にキズが入り、補償問題になることがあります。</p>		<p>施工の際に、排出管内に布きれ、配管くずなどを残さないでください。</p>  <p>排出管内に布きれ、配管くずなどがあると、配管内が詰まり、水漏れの原因になります。</p>
	<p>シンクに、60°C以上の湯を続けて流さないでください。</p>  <p>配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。</p>		<p>シンクに水をためているときは、絶対に運転しないでください。</p>  <p>本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちてケガをしたり流し台内部の破損・水漏れの原因になります。</p>
	<p>電源コード・ケーブル類は、給湯管などの高熱になるものに近づけないでください。</p> <p>電源コード・ケーブル類が加熱され破損し、火災・感電の原因になります。</p>		<p>運転した後は、モーターに直接手を触れないでください。</p>  <p>運転直後は高温になっているため、やけどの原因になります。</p>
	<p>ディスポーザーを運転するときは、必ず水を流してください。</p> <p>水を流さずに運転すると、ハンマーとターンテーブルの接触によるキズが大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。</p>		

## ⚠ 注意

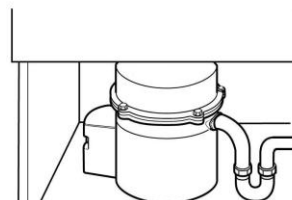
異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから電源プラグを抜いて運転が止まっていることを確認してからおこなってください。



異物を取り除く前に



① 電源プラグを抜く



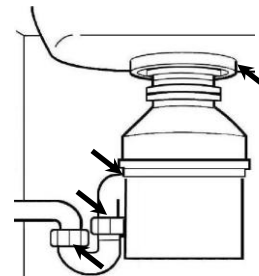
② 運転していないのを確認

粉碎部内のハンマーなどで、手にけがをする原因になります。



通水後は、各部の水漏れ確認を必ずおこなってください。

水が漏れると、周囲が氷びたしになり、大きな補償問題になることがあります。



施工後は、金属片やタイル片などをきれいに取り除いてください。また、施工後の金属片やタイル片などはディスポーザーで処理しないでください。

破損の原因になります。

手順

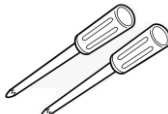


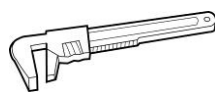
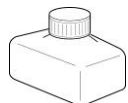


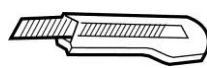
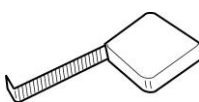
## 2 部材一覧 (そろっているかご確認ください。)

※お客様の仕様により、付属品は別梱包や付属していない場合があります。

本体	付属品	オプション
<p>オーバーフロー口付タイプ</p> <p>施工説明書</p>	<p>噛みこみ解除工具</p> <p>取扱説明書 シール類</p> <p>アミ皿</p>	<p>オプション</p> <p>PTラップまたはSTラップ</p> <p>PTラップ</p> <p>STラップ</p> <p>ゴムジョイント</p>

# 3 施工の前の確認

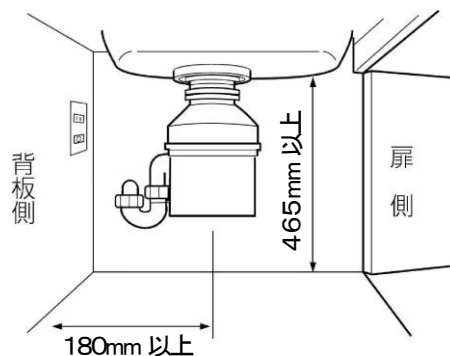
**工具の確認**(施工には次の工具が必要です。)※付属品ではありません。

+、-ドライバー 	ウェス、毛布など 	塩ビ用ノコ 	モーターレンチ 	塩ビ用接着剤 
ロックナット締付け工具 	スパナー(10mm) 	カッター 	スケール 	

## 設置位置の事前確認

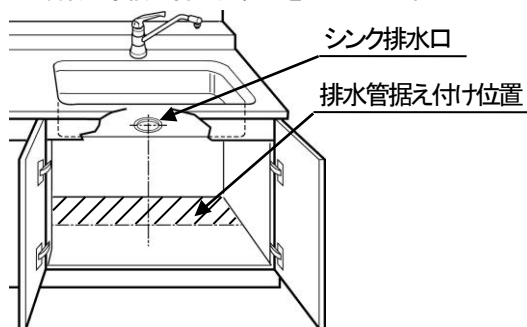
### 取付けスペースの確認

本体(Φ200×h327mm)設置スペースに加え配管スペースが必要となります。  
シンク下部に右図のようなスペースを確保できることを確認してください。



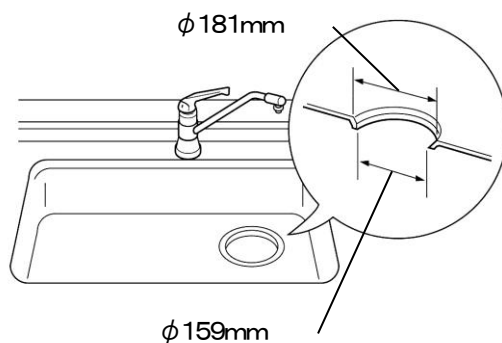
### 排水管の取付け確認

排水管はシンク排水口より奥側の位置(キャビネット内)に取付けてください。(ディスプレイと排水管の位置関係は、手順6参照)  
※取付け位置はお客様と事前に打ち合わせをしてください。



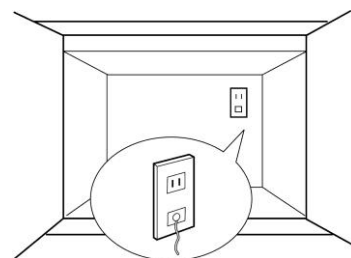
### 取付けるシンク排水口の確認

取付け可能なシンク排水口形状は下図の通りです。



### 電源およびアースの確認

電源はAC100V、15A以上が必要です。  
本品を設置するシンク用ベースキャビネット内に、アース端子付コンセントを設け、これに電源電線・アース線を配線できる計画と準備をしてください。  
(手順6参照)  
※取付け位置はお客様と事前に打ち合わせをしてください。

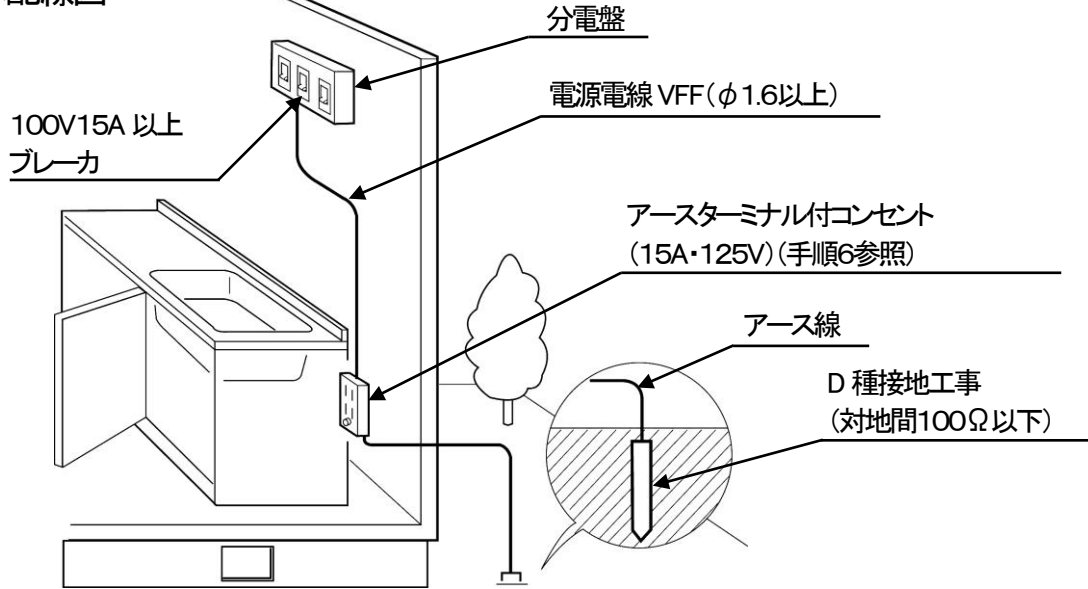


手順

## 3 施工の前の確認

### 基本配線の事前確認

#### ●基本配線図



手順

## 4 排水口の確認

●ディスポーザーの排水エルボと流し台の排水管をストラップまたはPトラップを介して接続する計画と準備をしてください。(手順6参照)

※配水管の位置が床の場合はストラップ、側面の場合はPトラップとなります。

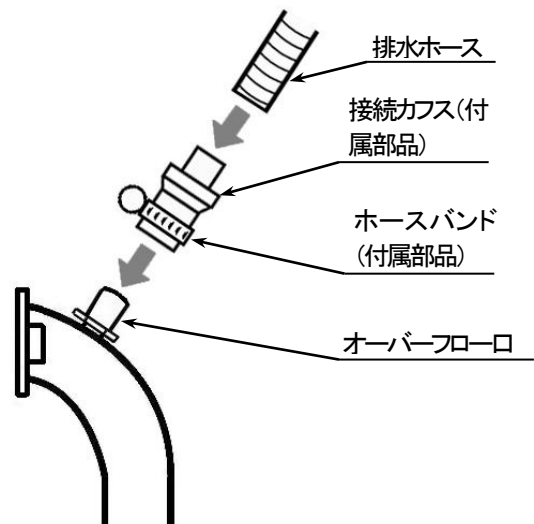
手順

## 5 オーバーフロー口の<sup>ぐち</sup>接続方法

### 接続方法

※オーバーフロー口付の場合は、右図の通りです。

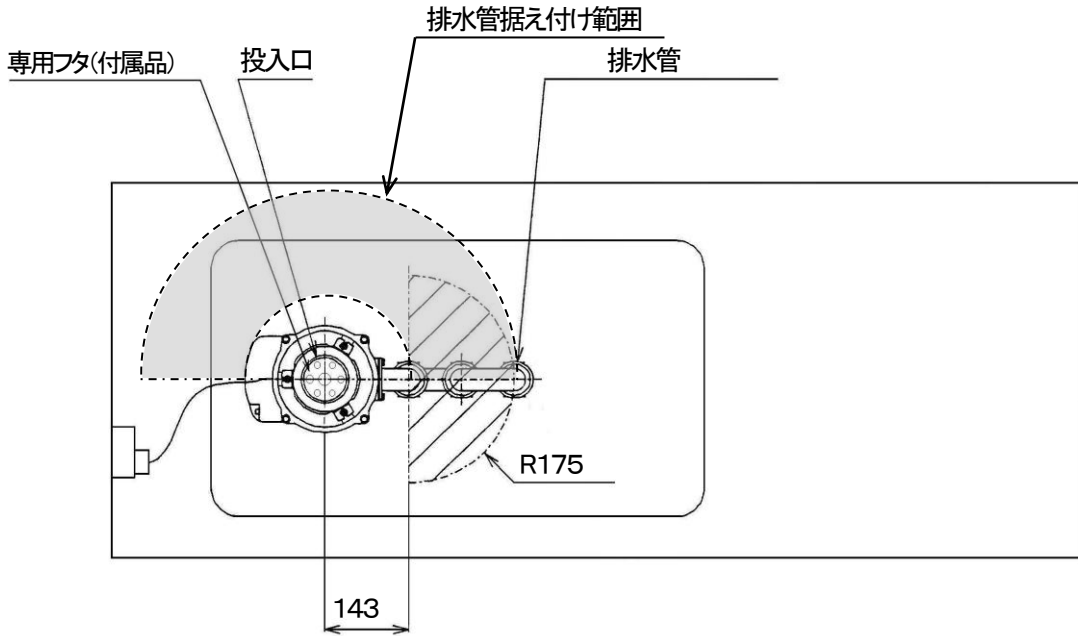
- ① 使用時はオーバーフロー口内にあるキャップ(栓)を先の尖った物で引っ掛けて抜き取ってください。
- ② 内径25mmの排水ホースと付属部品を使用して右図のように接続してください。  
排水ホースは必要に応じてニツ<sup>ツ</sup>などで切ってください。  
(排水ホースと接続カフスは塩ビ用接着剤で接着してください。)
- ③ 接続後、水漏れを確認してください。



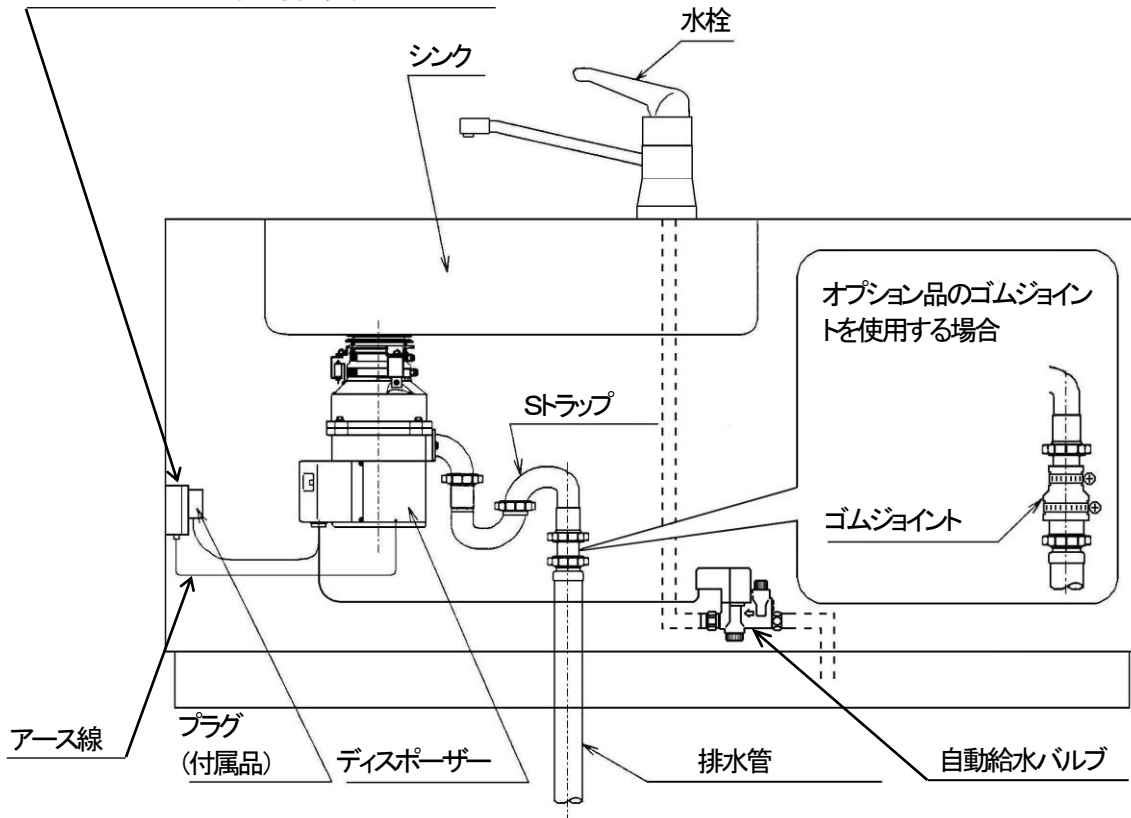
# 6 施工概要図

## Sトラップ型(トラップ取付け例)

●配線工事は電気工事士による

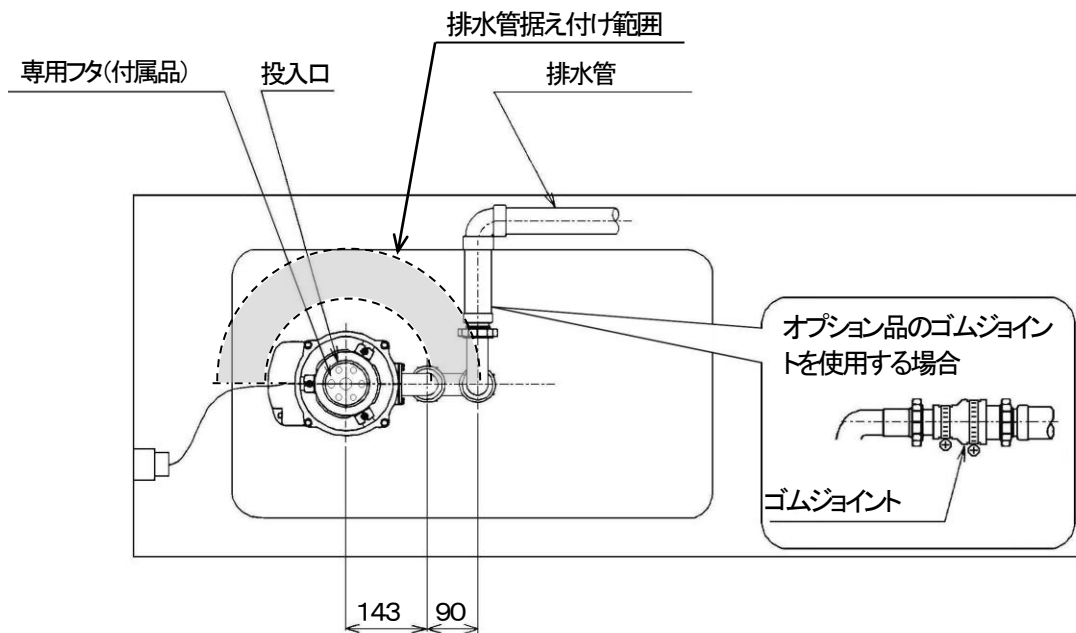


専用コンセント…部品調達及び電気工事は施工側が実施

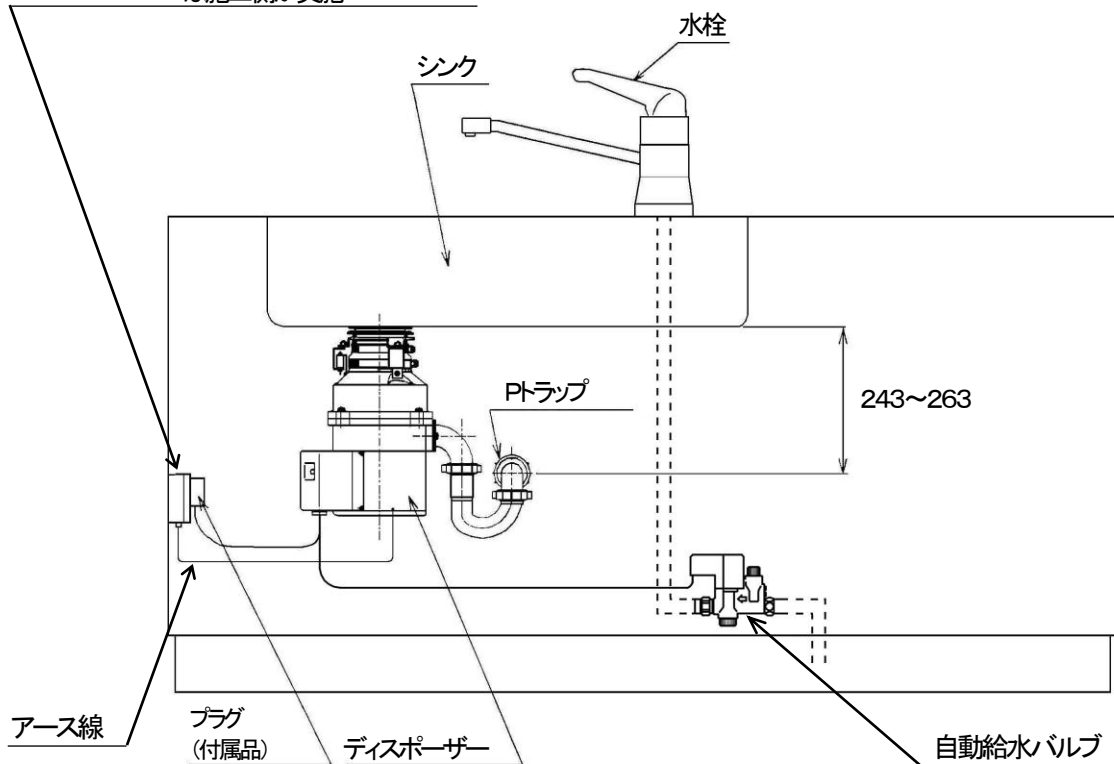


## Pトラップ型(トラップ取付け例)

●配線工事は電気工事士による



専用コンセント…部品調達及び電気工事は施工側が実施




# 7 本体の取付け・固定

## 1. シンクフランジの取外し

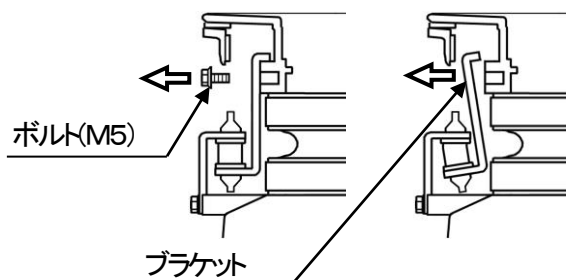
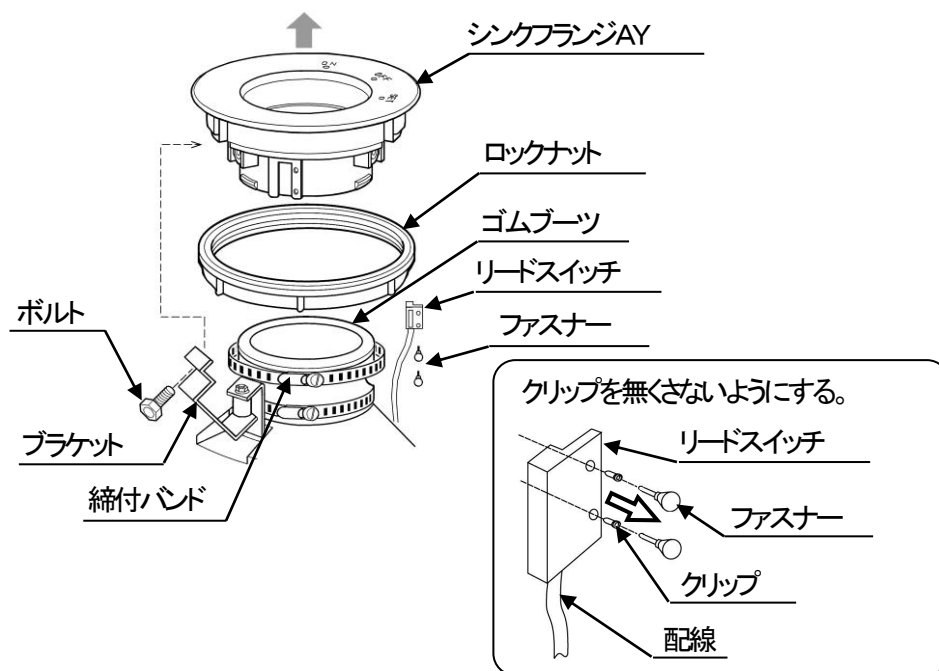
- ① リードスイッチのファスナーを引っ張り、  
リードスイッチと本体を分離する。  
(クリップも外す。)
- ② ブラケットの上側ボルト(M5)3ヶ所をゆるめて外す。
- ③ 上側締付バンドをゆるめる。
- ④ ブラケットを外側に広げてシンクフランジAYをゴムブーツから外す。
- ⑤ ロックナットをゆるめて外す。

※分解した部品はなくさないようにしてください。


**注意**

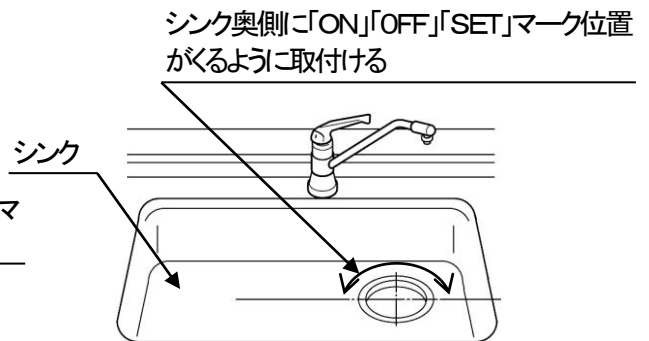
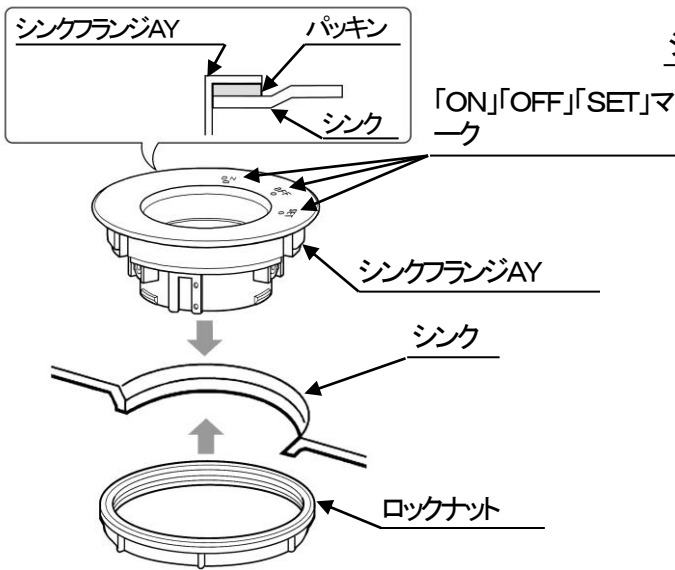
リードスイッチを無理に引っ張ったり、配線を無理に折り曲げないでください。

リードスイッチ部に外力が加えられるとスイッチ内部が破損して、機能なくなります。



## 2.シンクフランジの取付け

- ①シンク排水口にシンクフランジAYを挿入する。
- ②シンクフランジの「ON」「OFF」「SET」マーク位置がディスポーザー取付け口の中心よりシンク奥側になるように取付けてください。
- ③ロックナットを仮締めする。(シンク裏側より)



### ⚠ 注意

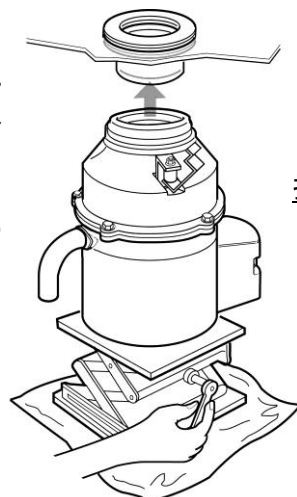


パッキンが変形やねじれた状態になっていないことを確認してください。

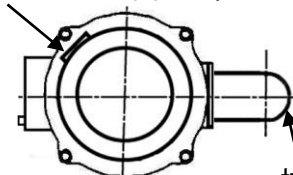
水漏れの原因となります。

## 3.本体の取付け

- ①配水管の方向に排水エルボ(本体)を向けた時、右図のようにリードスイッチ取付け部A・Bどちらかの位置になるように本体の向きを合わせてください。
- ②シンク排水口の真下に本体がくるように置き、本体をジャッキで押し上げ、シンクフランジAYにはめ込む。  
※ゴムブーツの内側に水をつけるとはめ込みやすくなります。

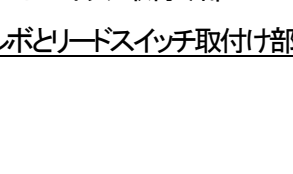


リードスイッチ取付け部A



排水エルボ

リードスイッチ取付け部B



排水エルボとリードスイッチ取付け部の関係

## ⚠️ 注意



リードスイッチ取付け部にゴムブーツが当たらないように取付けてください。

ゴムブーツが金属部に当たるとブーツ(ゴム)の損傷・水漏れの原因となります。



本体取付けの際にゴムブーツの内側に油や石鹼水をつけないでください。

油や石鹼水を使用すると、運転中に本体が落下し、けがや流し台内部の破損・水漏れの原因となります。

禁止

③ブラケット(3個)の上側部分を取付け部に引っ掛ける。

④ブラケット(3個)をガイドに合わせて挿入する。

※ブラケットがガイドに合わない場合は本体の向きを調整して合わせてください。

⑤ブラケット(3個)の上側の六角ボルト(M5)を固くなるまで締めてください。

※防振ゴムが斜めになっている場合は再度本体の向きを調整してください。

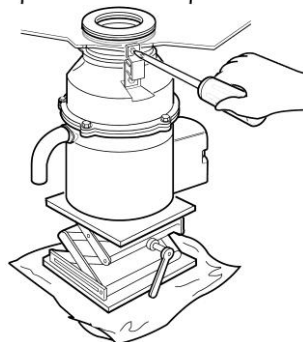
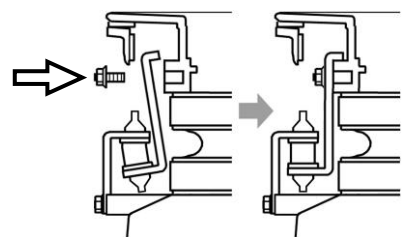
防振ゴムが変形したまま固定されると振動・騒音の原因になったり、損傷・劣化の原因となります。

⑥締付けバンドのネジ部がリードスイッチ取付け部とブラケットに接触しないように締付けバンドを回転させて位置を調整し、下図のように締付けバンド金属板がスペーサに付くまで+ネジを締め付けてください。

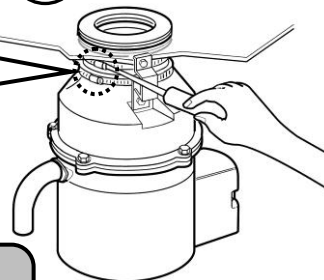
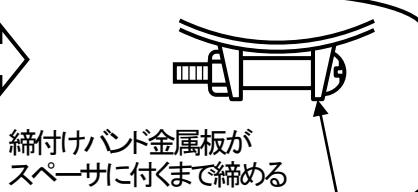
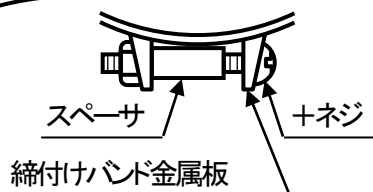
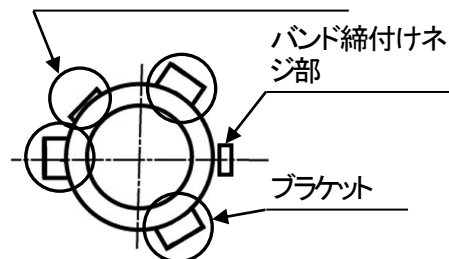
⑦配水管の向きに合わせて本体の方向を調整してください。

(ロックナットをゆるめると方向の調整がしやすくなります。)

※シンクフランジAYの「ON」「OFF」「SET」マークがシンク奥側にあることを確認してください。



リードスイッチ取付け部



## ⚠️ 注意



締付けバンドのネジ部が、リードスイッチ取付け部とブラケットに干渉していないことを確認してください。

リードスイッチの破損や騒音・振動の原因となります。

⑧シンクフランジAYのロックナットをロックナット締付け工具にて本締めしてください。

## ⚠️ 注意



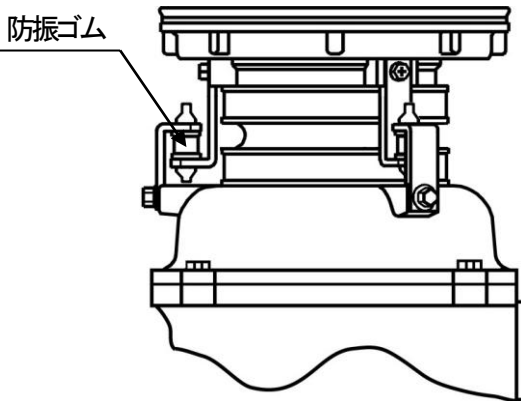
締付けバンド金属板がスペーサに付くまで締め付けてください。

水漏れの原因となります。

⑨ジャッキを外してください。

ジャッキを外した時に、防振ゴムが斜めになっていないことを確認してください。

(防振ゴムが斜めになっている場合は再度ブラケットの位置を調整してください。)



## ⚠️ 注意



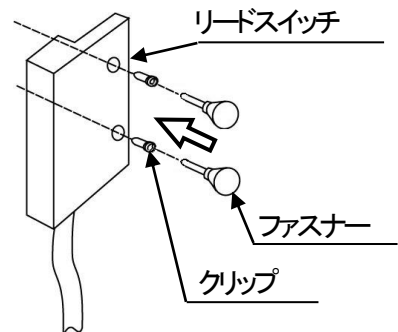
ブラケットの上側(M5)ボルトを確実に締め付けてください。

本体が落下し、けがや流し台内部の破損・水漏れの原因となります。

⑩リードスイッチをプレートの取付け板に組み合わせた状態でクリップ(2個)をはめ込んでください。

(クリップがプレートの取付け板に確実に挿入されていることを確認してください。)

⑪ファスナー(2個)をクリップにはめ込んでください。



## 4.トラップの取付け

①SトラップまたはPトラップを本体が傾かないようにトラップを調整しながら排水エルボと配水管に合うように仮接続します。

②仮接続終了後、トラップの締付けナットを確実に締め付けてください。

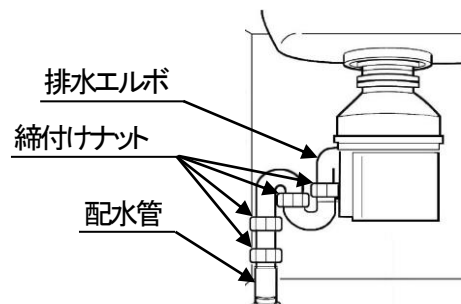
(オプション品等使用により、トラップと配水管の接続方法が異なる場合がありますので、手順6施工概要図を参考に接続してください。)

## ⚠️ 注意



接続部は確実に締め付けてください。

水漏れの原因となります。



③本体が斜めに傾いていないことを確認してください。

※本体がトラップで押されていたり、引っ張られたりすると本体が斜めに傾いた状態になります。

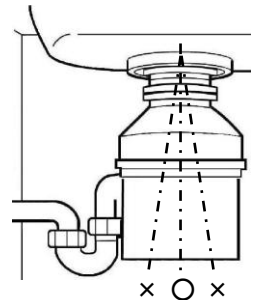
その場合は、本体の傾きがなくなるように再度トラップの調整をしてください。

## ⚠️ 注意



本体が斜めに傾いていないことを確認してください。

本体が斜めに傾いて取付けされていると振動・騒音の原因になったり、トラップ・排水管の損傷・劣化の原因になります。



# 5. 自動給水バルブへの接続方法

①端子接続コネクタを図のように、バルブ側端子へしっかりと差し込んで接続します。

②自動給水バルブと端子接続コネクタのバンド通し穴から結束バンドを通し、縛って固定してください。

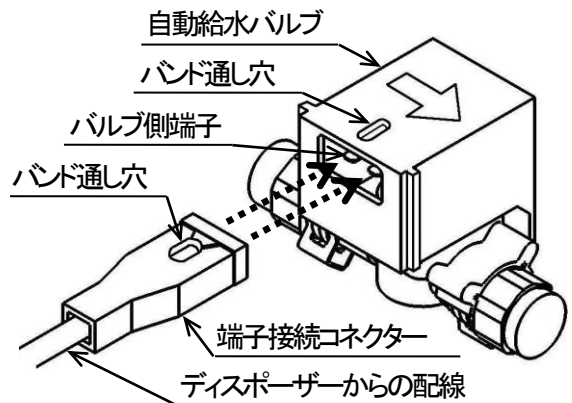
③端子接続コネクタが自動給水バルブから外れないことを確認してください。

## ⚠️ 警告



端子接続コネクタとバルブ側端子を接続するときは、コンセントから電源プラグを抜いておこなってください。

感電や本体破損の原因になります。

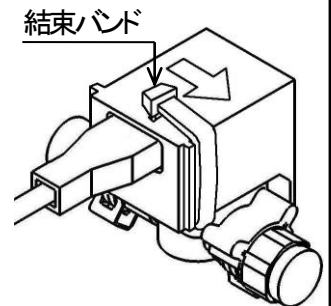


## ⚠️ 注意



端子接続コネクタがしっかりと差し込んでいるか確認してください。

端子の破損の原因になります。



これで取付けが完了しました。

# 1.シンクフランジの取外し (YD200BWPA2 の場合)

- ① 手順7の「シンクフランジの取外し」に添って取付けてください。

# 2.シンクフランジの取付け

- ① 手順7の「シンクフランジの取付け」に添って取付けてください。

# 3.本体の取付け

- ① 手順7の「本体の取付け」に添って取付けてください。

# 4.トラップの取付け

- ① 手順7の「トラップの取付け」に添って取付けてください。

# 5.自動給水バルブへの接続方法

- ① 手順7の「自動給水バルブへの接続」に添って取付けてください。

# 6.給水口への接続方法

- ① バキュームブレーカ2次側ホース先端の袋ナットを、ディスプレイザ本体の給水継手に、ねじ込んでください。
- ② 袋ナットの奥のパッキンが、給水継手の端面に確実に当たるまで、しっかりとねじ込んでください。
- ③ 通水して、水漏れがないことを確認してください。

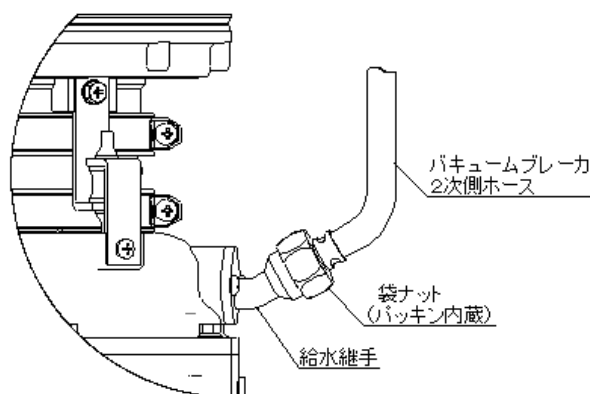
## ⚠️ 注意



・バキュームブレーカの1次側と2次側のホースの接続が間違っていないか確認してください。

・袋ナット内にパッキンがあることを確認して、ねじ込んでください。

上記に不具合があると、水漏れの原因になります。



これで YD200BWPA2 の取付けが完了しました。

# 8 試運転

## 1 工事を確認する

- 電源工事、接地工事が完了しているか。
- 本体がシンクに正しく取付けられているか。  
(容易に回転しないよう、締め付けられているか。)
- 排水管が正しく取付けられ、各部に緩みがないか。
- ディスプレイ側の端子接続コネクタと自動給水バルブ側の端子が接続してあるか。

## 2 粉碎室内を確認する(生ごみを貯めるところ)

- 異物(ネジ・配線くず・木くず等)が混入していないことを確認してください。  
※異物が混入している場合は、手袋を着用して異物を取り除いてください。  
(異物を取り除く作業のときは電源が切れていることを確認してください。)



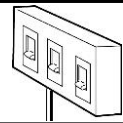
**注意**

施工時に出たゴミ(ネジ・配線くず・木くず等)が粉碎室内に入っていると、運転時に異音や噛みこみ停止等の原因になります。

## 3 分電盤のブレーカを「ON」にする

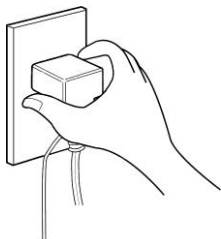


- フタが外れていることを確認してからブレーカをONにしてください。

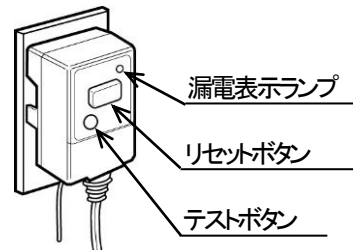


## 4 電源プラグを差し込む

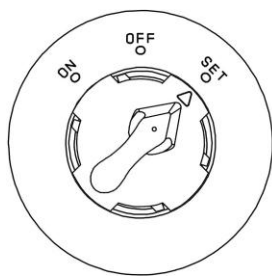
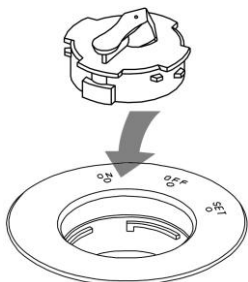
- プラグを確実に奥まで差し込む。



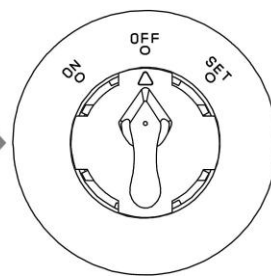
(漏電保護プラグ付の場合)  
差し込み後、運転保護スイッチの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。  
(テストボタンを押して動作を確認してください。)



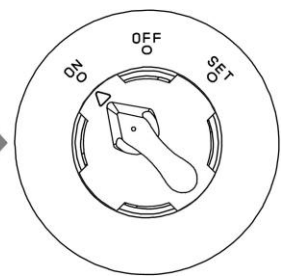
## 5 投入口にフタをする



(この位置でフタを挿入します)

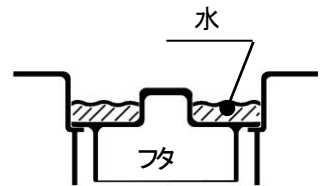


(一段下に下がります)



(運転がはじまります)

- 投入口のフランジのSET位置にフタを挿入し、OFF位置からON位置の順に回転させてください。
- 水栓より自動的に水(毎分8リットル)が流れます。
- 水が流れてから約5秒後にディスポーザーが自動的に作動します。
- 作動後、約1分でディスポーザーが自動停止します。
- ディスポーザー停止後、約5秒後に水が自動的に止まります。
- 次のことを確認してください。



- ① フタをON位置に合わせた後、水が自動的に流れるか。
  - ② 毎分8リットルの水が流れているか。
- (水量の目安は右図のようにフタの表面に水が溜まるぐらいです。)

※浄水器付水栓の場合、「浄水」で使用すると水量が少なくなる恐れがありますので、「原水」で使用してください。

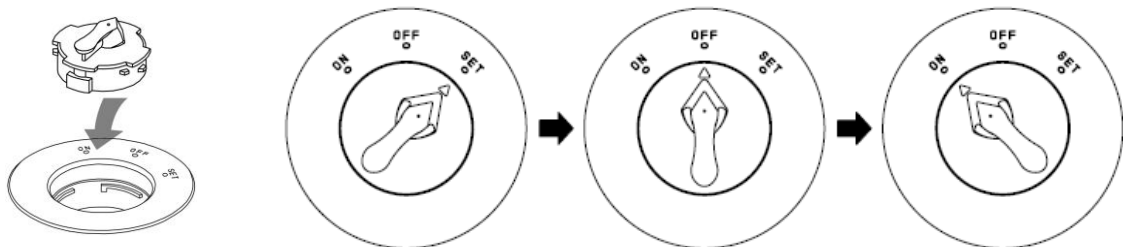
- ③ ディスポーザーが正常に運転し、運転中に異常音、異常振動がでないか。
  - ④ ディスポーザー始動後、約1分で自動停止するか。
  - ⑤ ディスポーザー停止してから約5秒後に水が自動的に止まるか。
- ※お客様の仕様により、ディスポーザー始動前、停止後の水の流れる時間がそれぞれ異なる設定の場合があります。(標準の設定は始動前、停止後が約5秒になっています。)
- ※フタをON位置に合わせた後も水が自動で出ない場合は、ディスポーザー側の端子接続コネクタと自動給水用バルブのバルブ側端子が接続されているか確認してください。  
(手順7「自動給水バルブへの接続方法」参照)

※水の量が適量でない場合等の自動給水バルブに関するお問い合わせは、自動給水バルブ販売店にご相談ください。

※運転音や振動が大きい場合、次のことを確認してください。

- ① ブラケットの上側(M5)ボルトが確実に締め付けられているか、防振ゴムが斜めに取付いていないかを確認してください。
- ② 排水管に無理な力がかかったり、排水管と流し台の床板・壁板等が干渉していないか確認してください。

## 投入口にフタをする (YD200BWPA2 の場合)



下記の動作を行うことを確認してください。

- ① フタスイッチをONにすると、ブザー音「ピッ」が鳴り、給水を開始します。
- ② 給水を開始して約5秒後にモーターが作動します。
- ③ モーターが作動して約1分後にモーターが一時停止します。(給水は継続します)

5  
の  
続  
き

- ④ 約10秒間停止後にモータが再始動します。  
(停止中はブザー音「ピッピッ・ピッピッ・ピッピッ」が鳴ります)
- ⑤ 再始動して約5秒後にブザー音「ピー・ピー・ピー」が鳴り、モータおよび給水が停止します。

※上記の運転途中でフタスイッチを OFF にすると、モータおよび給水が停止することを確認してください。

※フタスイッチを ON 位置に合わせても水が自動で出ない場合は、ディスプレイ側の端子接続コネクタと自動給水用バルブのバルブ側端子が接続されているか確認してください。

※運転音や振動が大きい場合、次のことを確認してください。

- ・ブラケットの上側 (M5) ボルトが確実に締め付けられているか、防振ゴムが斜めに取付いていないかを確認してください。
- ・排水管に無理な力がかかったり、排水管と流し台の床板・壁板等が干渉していないか確認してください。

水が自動で出ない、止まらない等の自動給水バルブに関するお問い合わせは、自動給水バルブ販売店にご相談ください。

6

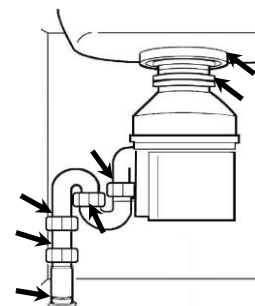
## フタをOFF位置⇒SET位置に合わせください

※OFF位置でフタを引き上げながらSET位置まで回してください。

7

## 接続部からの漏水確認

- 接続部分が水で漏れていないことを確認してください。
  - ①ロックナットのゆるみ・ガタがないか。
  - ②パッキンにねじれ等がないか。
  - ③ゴムブーツがシンクフランジAYIにしっかりはまっているか。
  - ④ゴムブーツが締付バンドにしっかり締め付けられているか。
  - ⑤トラップ・排水管等のゆるみがないか。



8

## 破損・傷の確認

- フタ・シンクフランジ・本体・トラップ等に破損・傷がないことを確認してください。

